

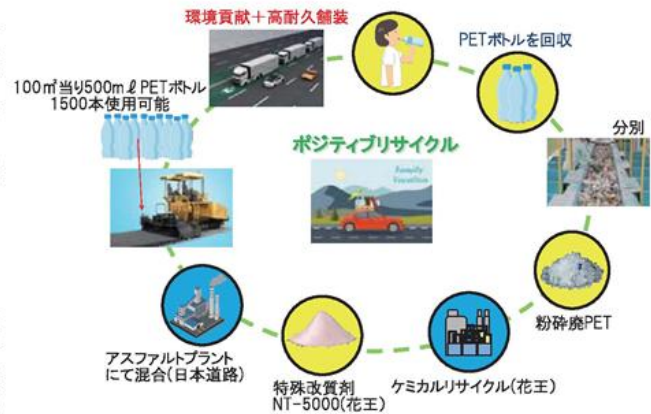
日本道路 廃プラで高耐久性舗装 24年度に70万²m目指す

日本道路は、花王が開発した廃プラスチック(PET)を原料とするアスファルト改質剤「ニュートラック5000」を使用した高耐久性舗装工法「スーパーPETアスコン」を、2月から販売する。舗装1平方メートルあたり500ミリのペットボトル15本分のPETの再利用ができ、わだち掘れ対策として一般的な半たわみ性舗装よりも短工期・高耐久でありながら同等程度のコストを実現している。

日本道路は、2019年にポリエステルを添加した高耐久性アスファルト舗装「スーパーPETアスコン」を開発し、新東名高速道路浜松サービスエリアを始め重交通道路や大型物流施設、工場構内、港湾・鉄道のコンテナヤードなどを中心に約9万平方メートルの施工実績がある。

スーパーPETアスコンは、その添加剤にPETを活用することで、海洋プラスチックごみ対策や資源循環など環境問題に貢献しつつ、舗装の高耐久化を実現する「ポジティブリサイクル」の流れを構築している。

今後、「スーパーPETアスコン」ほどの高耐久性は必要とされていないがPET活用によって環境へ貢献したいという。外展開に向けた検討も進めている。



ポジティブリサイクルの流れ

というニーズにも対応できるよう、「PETアスコン(ストアス仕様)」や「PETアスコンSAM」、「薄層PETアスコン」など用途に合わせたバリエーションを増やし、これらを加えた上で21年度には20万平方メートル、24年度には70万平方メートルの施工実績を目指す。また、将来的な海外展開に向けた検討も進めている。

